

#2

Docket No. 122.1433/HJS

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Application of:

Haruhisa SAKUMA et al.

Group Art Unit:

Serial No.:

Examiner:

Filed: January 30, 2001

For: ELECTRONIC APPARATUS AND MEDIUM



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR  
FOREIGN APPLICATION IN ACCORDANCE WITH  
THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s)  
herewith a certified copy of the following foreign application(s):

Japanese Patent Application No. 2000-257762  
Filed: August 28, 2000

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing  
date, as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements  
of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,  
STAAS & HALSEY LLP

Date: January 30, 2001

By: \_\_\_\_\_

H. J. Staas  
Registration No. 22,010

700 Eleventh Street, N.W.  
Suite 500  
Washington, D.C. 20001  
Telephone: (202) 434-1500  
Facsimile: (202) 434-1501

#2

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-257762

出 願 人

Applicant (s):

富士通株式会社

1C564 U.S. PRO

09/771689

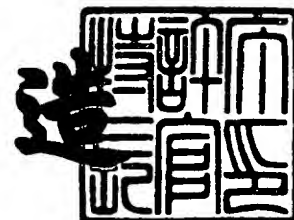


01/30/01

2000年12月 1日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3098234

【書類名】 特許願

【整理番号】 0050523

【提出日】 平成12年 8月28日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 1/00 340  
G06F 11/30  
G06F 15/16 460

【発明の名称】 電子装置及び媒体

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 佐久間 春久

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 岩佐 直樹

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 川崎 誠

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 原田 義久

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100077517

【弁理士】

【氏名又は名称】 石田 敬

【電話番号】 03-5470-1900

【選任した代理人】

【識別番号】 100092624

【弁理士】

【氏名又は名称】 鶴田 準一

【選任した代理人】

【識別番号】 100100871

【弁理士】

【氏名又は名称】 土屋 繁

【選任した代理人】

【識別番号】 100082898

【弁理士】

【氏名又は名称】 西山 雅也

【選任した代理人】

【識別番号】 100081330

【弁理士】

【氏名又は名称】 樋口 外治

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036135

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9905449

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子装置及び媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子装置であって、

少なくとも当該装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを格納した第 1 のメモリと、

前記パラメータで示される条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第 2 のメモリに格納する制御部と、  
を備える電子装置。

【請求項 2】 前記制御部は、出力指示に従って前記第 2 のメモリに格納された画像情報の出力を制御する請求項 1 に記載の電子装置。

【請求項 3】 前記制御部は、BIOS セットアッププログラムで前記第 1 のメモリ内の前記パラメータの読み出し及び前記第 2 のメモリへの前記画像情報の記録を行うことを指示する請求項 1 に記載の電子装置。

【請求項 4】 前記制御部は、前記 BIOS プログラムに用意されたインタフェースを介して前記装置のオペレーティングシステムプログラムで、前記第 1 のメモリ内の前記パラメータの設定・変更を行うことを指示する請求項 3 に記載の電子装置。

【請求項 5】 コンピュータに、

第 1 のメモリに格納された、少なくとも当該電子装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを読み出し、

当該条件の成立を判定し、

前記条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第 2 のメモリに格納する、

ことを実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、アクセスが許可されていない使用者がアクセスした場合に、当該使

用者を特定可能とした電子装置及びプログラムを記録した媒体に関し、特に、システム起動中において、システム周辺の状況を画像情報として記録できるようにした電子装置及びプログラムを記録した媒体に関する。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

従来の電子装置、例えば、パーソナルコンピュータシステム（以下、PCシステムという。）では、不正に使用されないように、保護機構が備えられている。この保護機構は、システム側において使用者本人であることが分かっているという前提で設けられており、システムのログオン時に使用者を識別している。この識別には、通常、使用者が知っている何か、持っている何か、あるいは使用者自身の何かを識別するようにしている。

#### 【0003】

最も一般的なものとして、パスワードの入力が使用されている。更には、署名パターンで識別するものもある。また、端末装置で使用者を特定する方法として、指紋、掌紋、手形、網膜パターン、音声等で識別することも、開発されている。

#### 【0004】

##### 【発明が解決しようとする課題】

上述したように、PCシステムに、本来、アクセスが許可されていない使用者に対して、不正に使用させないようにする種々の手法がある。しかし、例えば、パスワードを入力する場合にあっては、パスワードの不正使用等についての記録を残すことは可能であったが、その使用者を特定することは困難であった。

#### 【0005】

不正使用者を特定するためには、使用者の外見等に係る視覚情報が非常に有用である。ところで、自動預金支払機等に見られるように、防犯システムとして、当該機器の近傍にカメラを設置して監視することも行われているが、この防犯システムは、機器とは別に設置しなければならず、コストがかかるものである。しかも、視覚情報を記録して監視できるが、このシステムでは、常時記録が行われ大容量の記録媒体を必要とする。

## 【 0 0 0 6 】

そのため、この防犯システムをPCシステムに適用するには、問題がある。特に、バッテリーで動作するPCシステムにあっては、視覚情報を常時記録するために、バッテリーを電源として常時通常動作で稼動しておく必要があり、PCシステムの稼動可能時間を短縮するものとなってしまう。PCシステム起動中のシステム周辺の状況を画像情報として簡単に記録できるようにする必要がある。

## 【 0 0 0 7 】

そこで、本発明は、リソース消費を低減した装置の不正使用者特定を可能にすることを目的とする。また、アプリケーションプログラムを使用しなくても、そのPCシステムで確認できるようにすることを目的とする。また、画像情報の記録も、BIOSセットアッププログラムだけでなく、オペレーティングシステムまたはアプリケーションプログラムからも設定できるようにすることを目的とする。

## 【 0 0 0 8 】

## 【課題を解決するための手段】

このような課題を解決するために、本発明では、電子装置において、少なくとも当該装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを格納した第1のメモリと、前記パラメータで示される条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第2のメモリに格納する制御部とを備えている。

## 【 0 0 0 9 】

そして、前記制御部は、出力指示に従って前記第2のメモリに格納された画像情報の出力を制御する。さらに、前記制御部は、BIOSセットアッププログラムで前記第1のメモリ内の前記パラメータの読み出し及び前記第2のメモリへの前記画像情報の記録を行うことを指示し、前記BIOSプログラムに用意されたインタフェースを介して前記装置のオペレーティングシステムプログラムで、前記第1のメモリ内の前記パラメータの設定・変更を行うことを指示するようにした。

## 【 0 0 1 0 】

また、本発明では、コンピュータ読み取り可能な記録媒体において、コンピュ



ータに、第 1 のメモリに格納された、少なくとも当該電子装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを読み出し、当該条件の成立を判定し、前記条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第 2 のメモリに格納することを実行させるプログラムを記録した。

【 0 0 1 1 】

【発明の実施の形態】

本発明の実施形態について、図を参照して説明する。ここでは、電子装置を代表して P C システムの場合について説明する。

図 1 は、本実施形態が適用される P C システムの概略ブロック構成を示しており、その P C システムは、主として、システムコントローラ 1、ディスプレイコントローラ 2、ディスクコントローラ 3、キーボードコントローラ 4、I / O コントローラ 5、そして周辺装置接続用インタフェースである U S B コントローラ 6 で構成され、バスを介して、互いに接続されている。さらに、システム全体に電源を供給するため、電源部 7 が備えられている。

【 0 0 1 2 】

システムコントローラ 1 は C P U 8、D R A M である主記憶装置 9 を有し、ディスクコントローラ 3 には、ハードディスク 1 0 が接続されている。I / O コントローラ 5 には、シリアルポート 1 1、パラレルポート 1 2 及びフロッピーディスクドライブ 1 3、が備えられている。そして、バスには、不揮発性メモリ（C M O S R A M）1 4 と、B I O S で使用するフラッシュメモリ 1 5 とが接続されており、不揮発性メモリ 1 4 には、バックアップ用のバッテリー 1 6 が接続されている。

【 0 0 1 3 】

ここで、本実施形態による P C システムでは、U S B コントローラ 6 にカメラ 1 7 を接続していることが特徴である。このカメラ 1 7 には、C C D カメラ、デジタルカメラ等の画像データをデジタル的に得られるものであれば、使用することができる。そして、この P C システムを使用者が使用するときには、ディスプレイ 1 9 に向かって、キーボード 1 8 を操作するのが普通であるので、カメラ 1 7 の向きは、ディスプレイ 1 9 側から使用者に向いた方向となり、ディスプ

レイ 1 9 の端部等に設置されているとよい。なお、カメラ 1 7 は、P C システム本体から離れていても、使用者の顔等が映し出され、画像データを取得できる範囲に設置されてあればよい。

【 0 0 1 4 】

また、C C D カメラ内蔵のノートブック型コンピュータなどでは、その内蔵カメラを利用すればよい。

そこで、本実施形態では、P C システムを使用しようとする者が、例えば、本来アクセスが許可されていない使用者であった場合でも、この P C システムを起動したときに P C システムに備えられたカメラ 1 7 で、その使用者の顔を撮影し、その画像を P C システム内に記録するようにした。そして、その記録された画像を P C システムのディスプレイ 1 9 に表示することにより、使用した者の顔を確認すれば、アクセスが許可された者であるか（不正使用であるか）どうかを簡単に判別できる。また、ディスプレイ 1 9 に表示するのではなく、その記録された画像をプリントアウトするようにしてもよい。

【 0 0 1 5 】

その使用者の顔を撮影し、記録するタイミングは、例えば、電源投入時、B I O S セットアッププログラムの起動時、不正パスワード入力時、レジューム時等である。

このようなタイミングで、カメラ 1 7 から画像情報を取得できるように、P C システムの不揮発性メモリ 1 4、フラッシュメモリ 1 5 内の各々にデータ領域を予約しておく。その具体的一例を図 2 に示す。

【 0 0 1 6 】

不揮発性メモリ 1 4 には、記録のタイミング、記録する画像情報のフォーマット、画像情報の書き込み方式を制御するための設定情報を格納する。

パラメータ 1 は、画像情報の記録のタイミングを制御するためのものであり、格納サイズは 1 バイトである。値に応じて、電源投入時、レジューム時、B I O S セットアッププログラムの起動時、不正パスワード入力時に画像情報を記録することを B I O S プログラムに指示するデータを格納している。

【 0 0 1 7 】

パラメータ 2 は、記録する画像情報のフォーマットを制御するためのものであり、格納サイズは 1 バイトである。値に応じて、記録する画像情報のピクセル数又は色数を B I O S プログラムに指示するデータを格納している。

パラメータ 3 は、画像情報の書き込み方を制御するためのものであり、格納サイズは 1 バイトである。値に応じて、画像情報を上書き又は追記することを B I O S プログラムに指示するデータを格納している。

#### 【 0 0 1 8 】

そして、フラッシュメモリ 1 5 は、記録する画像情報に関するデータを格納するための領域であり、画像データ管理ヘッダと画像データを格納する。

画像データ管理ヘッダは、画像データの管理情報であり、サイズは 4 バイトである。先頭画像データへのポインタを保持する。

画像データには、次の画像データへのポインタ、画像データを記録した時刻及びタイミング、画像データ自身のフォーマット、そしてそのデータが含まれている。

#### 【 0 0 1 9 】

データのサイズはフォーマットにより可変である。書き込み方式が追記の場合には、画像データは複数となる。また、複数の画像データを管理するため、個々の画像データに次の画像データへのポインタが保持されている。

次に、不揮発性メモリ 1 4 に設定された値に従って、B I O S プログラムに指示するソフトウェアインタフェースを説明する。

#### 【 0 0 2 0 】

図 3 は、B I O S プログラムの用意するソフトウェアインタフェースの例である。

B I O S プログラムは、システム B I O S 領域内に特定のシグネイチャを持ったデータ構造を用意し、そのデータ構造中に、例えば、3 2 ビットプロテクトモードによる各インタフェース用のエントリアドレスを埋め込むことによってアプリケーションプログラムはエントリポイントを知ることができる。

#### 【 0 0 2 1 】

アプリケーションプログラムは、見つけたエントリポイントを、図 3 に示した

C言語と同じ呼び出しインタフェースでコールすることにより、各ファンクションを実行することができる。各インタフェースには、現状設定を返すファンクションと設定を変更するファンクションが用意されている。BIOSプログラムは、各ファンクションに対し、図2に示した不揮発性メモリ14内のパラメータ1乃至3の格納内容を返す、あるいは変更する処理を行う。

#### 【0022】

図4は、BIOSセットアッププログラムの画面表示例である。

画像情報を記録するタイミングは、“電源投入時”、“レジューム時”、“BIOSセットアップ起動時”、および、“パスワード不正入力時”の4つのセットアップ項目から一つ又は複数を設定することができ、図4では、パスワード不正入力時に画像情報を記録することが示されている。これらの設定は、不揮発性メモリ14内のパラメータ1に反映されている。

#### 【0023】

“画像の大きさ”、および、“画像の色数”は、記録する画像情報のフォーマットを設定する項目であり、画像の大きさは、ピクセル数で640×480としており、色数を256色としている。これらの設定は、不揮発性メモリ14内のパラメータ2に反映されている。

“記録モード”は、書き込み方式を設定する項目で、図4では、追記に設定されている。この設定は、不揮発性メモリ14内のパラメータ3に反映されている。

#### 【0024】

“画像記録の表示”は、BIOSセットアッププログラム内で、記録された画像情報を表示させるためのものである。本項目では、キーボード18にあるエンターキーを押すことにより、次の図5のような画像記録表示ウィンドウがPCシステムのディスプレイに現れ、記録した時刻、タイミング情報とともに画像情報が表示される。

#### 【0025】

“前のデータを表示”、“次のデータを表示”は、設定項目に追記が指定され、複数のデータが記録されている場合に、選択可能な状態となり、カーソル移動

キー、エンターキーの操作により選択できる。“戻る”を選択すると、図4の画面に戻ることができる。

“画像記録の削除”は、記録された画像情報を削除するためのものである。本項目では、エンターキーを押すことにより、画像情報が削除される。

#### 【0026】

次に、図6乃至9は、画像情報の記録処理におけるエントリ部分の処理フローを示したものである。いずれの場合も、BIOSプログラムは不揮発性メモリ14に格納されているパラメータ1を取得して、画像の記録処理が必要かどうかを判定し、必要なら画像情報記録処理プログラムを呼び出すようになっている。

図6は、電源投入時に画像情報の記録を行う場合におけるエントリ部分の処理フローを示している。この場合は、使用者が、PCシステムを起動するために電源を投入したとき、自動的に画像情報を記録する。そして、後で、記録情報をディスプレイに表示することにより、誰が当該PCシステムを使用したのかを確認することができる。

#### 【0027】

先ず、PCシステムを起動するために電源を投入したとき、BIOSプログラムが起動され、不揮発性メモリ14をスキャンする。この時、パラメータ1の設定項目を読みに行き、パラメータ1を取得する（ステップS1）。取得したパラメータ1は、図4の例であれば、パスワード入力不正時において“記録する”と設定されており、電源投入時には“記録しない”と設定されているので（ステップS2）、電源投入時に記録が必要なく（N）、周辺画像を記録することなくPCシステムの起動処理が継続される。

#### 【0028】

図7に示されたセットアップ起動時における処理も、図6に示された電源投入時の処理と同様である。図4の例であれば、セットアップ起動時に記録が必要なく（ステップS4のN）、周辺画像を記録することなくPCシステムの起動処理が継続される。

図8は、パスワード不正入力時における処理を示している。この場合のステップS1におけるパラメータ1の取得は、図6及び図7のステップS1の処理と同

様である。図4の例であると、パスワード入力不正時において“記録する”と設定されているので（ステップS5）、パスワード入力不正時に周辺画像の記録が必要と判断され（Y）、画像情報記録処理が開始される（ステップS3）。

#### 【0029】

画像情報記録処理の詳細については後述するが、USBコントローラ6を介してカメラ17から周辺画像、例えば、使用者の顔等の画像を取得し、前述のフラッシュメモリ15に記録する。

図6乃至図8に示した処理は、主にPCシステムの立ち上げ時に係わって実行されるが、それ以外に、図9に示されるように、PCシステムのレジューム時に周辺画像の記録を行うことができる。

#### 【0030】

ステップS1の処理は、図6乃至図8に示したステップS1と同様である。そして、ステップS6で、ステップS1で取得したパラメータ1の設定がレジューム時になっていれば、そのとき、周辺画像の記録が必要と判断し（Y）、ステップS3の画像情報記録処理を実行する。図4の例のようであれば、記録が必要でないと判断し（N）、レジューム以降の処理を継続する。

#### 【0031】

ここで、図6乃至図9におけるステップS3の画像情報記録処理における詳細フローを図10に示す。

周辺画像の記録が必要と判断されると、まず、記録すべき周辺画像のフォーマットについて、不揮発性メモリ14に格納されているパラメータ2からその内容を取得する（ステップS11）。図4の例では、画像の大きさについて、640×480のピクセル数に、画像の色数について、256色に指定されている。これらの指定をパラメータ2から読み出す。

#### 【0032】

指定されたフォーマットの画像情報が得られるように、システムコントローラ1からUSBコントローラ6を介して、カメラ17を適正に初期化制御する（ステップS12）。

カメラ17の初期化が終了すると、カメラ17に対して画像情報の取り込みを

指示する（ステップ S 1 3）。画像情報の取り込みが完了したら、カメラ 1 7 内の撮影画像情報を主記憶装置 8 上に読み出し、取り込む。

【 0 0 3 3 】

得られた画像情報に基づいて、画像データを作成し、フラッシュメモリ 1 5 に格納する（ステップ S 1 4）。画像データには、記録した時刻、タイミング、フォーマット情報を合わせて格納する。また、必要に応じて画像データの圧縮も行う。

ここで、不揮発性メモリ 1 4 に格納されているパラメータ 3 を取得する（ステップ S 1 5）。このステップで、作成した画像データの書き込みモードを読み出し、その書き込みモードが追記と指示されてあるかどうかをチェックする（ステップ S 1 6）。

【 0 0 3 4 】

図 4 の例のように、記録モードが追記に設定されている場合（Y）、既に記録されている画像データの先頭に新たに作成した画像データを挿入する。これは、画像データ内の次の画像データへのポインタに、その時点で管理ヘッダの先頭画像データへのポインタに格納されていたポインタを格納する（ステップ S 1 7）。

【 0 0 3 5 】

そして、画像データ管理ヘッダにおける先頭画像データへのポインタを、新たに作成した画像データへのポインタに置き換えて変更する（ステップ S 2 0）。

一方、ステップ S 1 6 で、パラメータ 3 の書き込みモードが上書きに設定されていると判断された場合（N）、作成した画像データ内の次の画像データへのポインタに 0 を格納する（ステップ S 1 8）。ここで、0 は、続くデータがないことを示している。

【 0 0 3 6 】

その時点で、管理ヘッダの先頭画像データへのポインタでポイントされていた画像データを削除する（ステップ S 1 8）。その画像データを削除した後、追記の場合と同様に、ステップ S 2 0 に進み、管理ヘッダの先頭画像データへのポインタを、新たに作成した画像データへのポインタに変更する。

以上のようにして、P C システムに係る電源投入時、B I O S セットアッププログラムの起動時、不正パスワード入力時、レジューム時から選択されたタイミングにおいて、P C システム近傍に備えたカメラから周辺画像情報を自動的に取得し、メモリに記録しておくことができるようにした。

【 0 0 3 7 】

なお、図 1 0 に示した画像情報記録処理におけるフローでは、ステップ S 1 2 において、不揮発性メモリに格納されているパラメータに従って、カメラを初期化し、その後、ステップ S 1 3 でカメラに対して画像情報の取り込みを指示している。

しかし、リアルタイムに映像を P C に送出するタイプのカメラを用いて本発明を実施する場合には、予めそのカメラから送出される映像のフォーマットに応じたパラメータを不揮発性メモリに格納するようにすればよい。

【 0 0 3 8 】

そして、ステップ S 1 2 でのカメラの初期化处理、およびステップ S 1 3 でのカメラへの画像情報の取り込み指示の処理に替えて、カメラから送出されている映像を取り込む処理を実行するように構成すればよい。そして、送出されている映像信号は、パラメータの記録タイミングに従って、静止画像としてメモリに記録される。また、カメラの撮影した画像情報を一定時間保持しておき、パラメータの記録タイミングに従って、その保持された画像情報の一静止画像を P C に取り込むこともできる。

【 0 0 3 9 】

この様にしても、カメラが撮影した周辺画像情報を P C に自動的に取り込むことができる。

なお、周辺画像情報の記録タイミングは、上述の他にも、アクセス許可された使用者が任意の記録タイミングに設定することもできる。例えば、一定間隔の時間毎に周辺画像情報を取得していく等である。

【 0 0 4 0 】

また、上述の実施形態では、周辺画像情報の画像データを B I O S プログラムが使用するフラッシュメモリに記録するようにしたが、周辺画像情報の追記等で



記憶容量が不足する場合には、フラッシュメモリの容量が大きいものを用いる。周辺画像情報の記録を他の不揮発性メモリとしてもよい。また、バックアップ電池により供电される揮発性メモリを利用してもよい。

#### 【0041】

さらに、記録タイミングを記録する不揮発性メモリと、画像データを記録するフラッシュメモリと別個の記録装置を使用した例を示したが、単一の記録装置を使用するように構成してもよい。

本実施形態のようにすれば、不正に使用した者の特定に有用な情報として、使用者を含む周辺画像情報を記録することにより、盗難や不正使用に対するセキュリティ対策を強化することができる。また、本実施形態で例示したようなPCに限らず、他の電子装置においても対応が可能となる。

#### 【0042】

また、使用者を含む周辺画像を記録するために、特定のオペレーティングシステムやアプリケーションプログラムを用意する必要がないため、利用、保守が容易である。

さらに、ユーザが使い慣れたオペレーティングシステム上のGUIを利用したアプリケーションプログラムレベルで記録方式が設定できる。また、リモートメンテナンス等、システム管理が容易となる。

(付記1) 電子装置であって、

少なくとも当該装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを格納した第1のメモリと、

前記パラメータで示される条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第2のメモリに格納する制御部と、  
を備える電子装置。

(付記2) 前記制御部は、出力指示に従って前記第2のメモリに格納された画像情報の出力を制御する付記1に記載の電子装置。

(付記3) 前記制御部は、BIOSセットアッププログラムで前記第1のメモリ内の前記パラメータの読み出し及び前記第2のメモリへの前記画像情報の記録を行うことを指示する付記1に記載の電子装置。

(付記 4) 前記制御部は、前記 B I O S プログラムに用意されたインタフェースを介して前記装置のオペレーティングシステムプログラムで、前記第 1 のメモリ内の前記パラメータの設定・変更を行うことを指示する付記 3 に記載の電子装置。

(付記 5) 前記制御部は、前記第 2 のメモリに記録された前記画像情報の出力を、前記オペレーティングシステムプログラムで、前記 B I O S プログラムに指示する付記 3 に記載の電子装置。

(付記 6) 前記第 1 のメモリには、前記パラメータとして、画像情報を取得するための条件を示す記録のタイミングが選択設定されて格納される付記 1 に記載の電子装置。

(付記 7) 前記第 2 のメモリには、前記画像情報に関する画像データ管理ヘッダ、記録時刻、記録タイミング、記録フォーマット及び画像データを記録する付記 1 に記載の電子装置。

(付記 8) 前記画像情報の前記記録タイミングが、前記装置の電源投入時である付記 6 に記載の電子装置。

(付記 9) 前記画像情報の前記記録タイミングが、前記 B I O S プログラムの起動時である付記 6 に記載の電子装置。

(付 1 0) 前記画像情報の前記記録タイミングが、前記装置のレジューム時である付記 6 に記載の電子装置。

(付記 1 1) 前記画像情報の前記記録タイミングが、前記装置への不正パスワード入力時である付記 6 に記載の電子装置。

(付記 1 2) 前記第 1 のメモリには、前記パラメータとして、画像情報を取得するフォーマット及び書き込み方式が選択設定されて格納される付記 6 に記載の電子装置。

(付記 1 3) 前記画像データの前記第 2 のメモリへの書き込み方式が、上書き又は追記である付記 1 2 に記載の電子装置。

(付記 1 4) コンピュータに、

第 1 のメモリに格納された、少なくとも当該電子装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを読み出し、

当該条件の成立を判定し、

前記条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第2のメモリに格納する、

ことを実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記15) 出力指示に従って前記第2のメモリに格納された画像情報の出力を制御するプログラムを記録した付記14に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記16) BIOSセットアッププログラムで前記第1のメモリ内の前記パラメータの読み出し及び前記第2のメモリへの前記画像情報の記録を行うことを指示するプログラムを記録した付記14に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記17) 前記BIOSプログラムに用意されたインタフェースを介して前記装置のオペレーティングシステムプログラムで、前記第1のメモリ内の前記パラメータの設定・変更を指示するプログラムを記録した付記16に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記18) 前記第2のメモリに記録された前記画像情報の出力を、前記オペレーティングシステムプログラムで、前記BIOSプログラムに指示するプログラムを記録した付記16に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記19) 前記第2のメモリには、前記画像情報に関する画像データ管理ヘッダ、記録時刻、記録タイミング、記録フォーマット及び画像データを記録するプログラムを記録した付記16に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記20) 前記画像情報の前記記録タイミングを、前記装置の電源投入時、前記BIOSプログラムの起動時、前記装置のレジューム時、前記装置への不正パスワード入力時から選択設定できるプログラムを記録した付記16に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記21) 前記第1のメモリに、前記パラメータとして、画像情報を取得するための条件を示す記録のタイミング、フォーマット及び書き込み方式が選択設定されて格納するプログラムを記録した付記16に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記 2 2) 前記画像データの前記第 2 のメモリへの書き込み方式が、上書き又は追記であるプログラムを記録した付記 2 1 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

(付記 2 3) 第 1 のメモリに格納された、少なくとも当該装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを読み出し、

当該条件の成立を判定し、

前記条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第 2 のメモリに格納する、  
情報制御方法。

(付記 2 4) B I O S セットアッププログラムで前記第 1 のメモリ内の前記パラメータの読み出し及び前記第 2 のメモリへの前記画像情報の記録を行うことを指示する付記 2 3 に記載の画像情報制御方法。

(付記 2 5) 前記 B I O S プログラムに用意されたインタフェースを介して前記装置のオペレーティングシステムプログラムで、前記第 1 のメモリ内の前記パラメータの設定・変更を行うことを指示する付記 2 4 に記載の画像情報制御方法。

(付記 2 6) 前記第 2 のメモリに記録された前記画像情報の出力を、前記オペレーティングシステムプログラムで、前記 B I O S セットアッププログラムに指示する付記 2 4 に記載の画像情報制御方法。

(付記 2 7) 前記第 2 のメモリには、前記画像情報に関する画像データ管理ヘッダ、記録時刻、記録タイミング、記録フォーマット及び画像データを記録する付記 2 3 に記載の画像情報制御方法。

(付記 2 8) 前記画像情報の前記記録タイミングを、前記装置の電源投入時、前記 B I O S セットアッププログラムの起動時、前記装置のレジューム時、前記電子装置への不正パスワード入力時のいずれか一つ、又は複数から選択設定できる付記 2 4 に記載の画像情報制御方法。

(付記 2 9) 前記第 1 のメモリには、前記パラメータとして、画像情報を取得するための条件を示す記録のタイミング、フォーマット及び書き込み方式が選択設定されて格納される付記 2 3 に記載の画像情報制御方法。

(付記 3 0) 前記画像データの前記第 2 のメモリへの書き込み方式が、上書き又は追記である付記 2 9 に記載の画像情報制御方法。

【0 0 4 3】

【発明の効果】

本発明によると、不正使用を判断すべきタイミングでのみ、その使用者の画像（周辺画像情報）を記録するので、装置のリソースを不必要に消費することがない。また、記録した周辺画像情報を、特定のオペレーティングシステムやアプリケーションプログラムを使用しなくても、その PC システムで確認でき、そして、周辺画像情報の記録も、BIOS セットアッププログラムだけでなく、オペレーティングシステムまたはアプリケーションプログラムからも設定できるように、操作を簡単化することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

パーソナルコンピュータシステムの概略ブロック構成を示す図である。

【図 2】

メモリ内に予約されるデータ領域の具体例を示す図である。

【図 3】

BIOS プログラムの用意するソフトウェアインタフェースの具体例を示す図である。

【図 4】

BIOS セットアッププログラムの画面表示例を示す図である。

【図 5】

画像記録情報を表示するウィンドウの具体例を示す図である。

【図 6】

電源投入時の画像記録処理におけるエントリ部分の処理フロー図である。

【図 7】

セットアップ起動時の画像記録処理におけるエントリ部分の処理フロー図である。

【図 8】

パスワード不正入力時の画像記録処理におけるエントリ部分の処理フロー図である。

【図 9】

レジューム時の画像記録処理におけるエントリ部分の処理フロー図である。

【図 1 0】

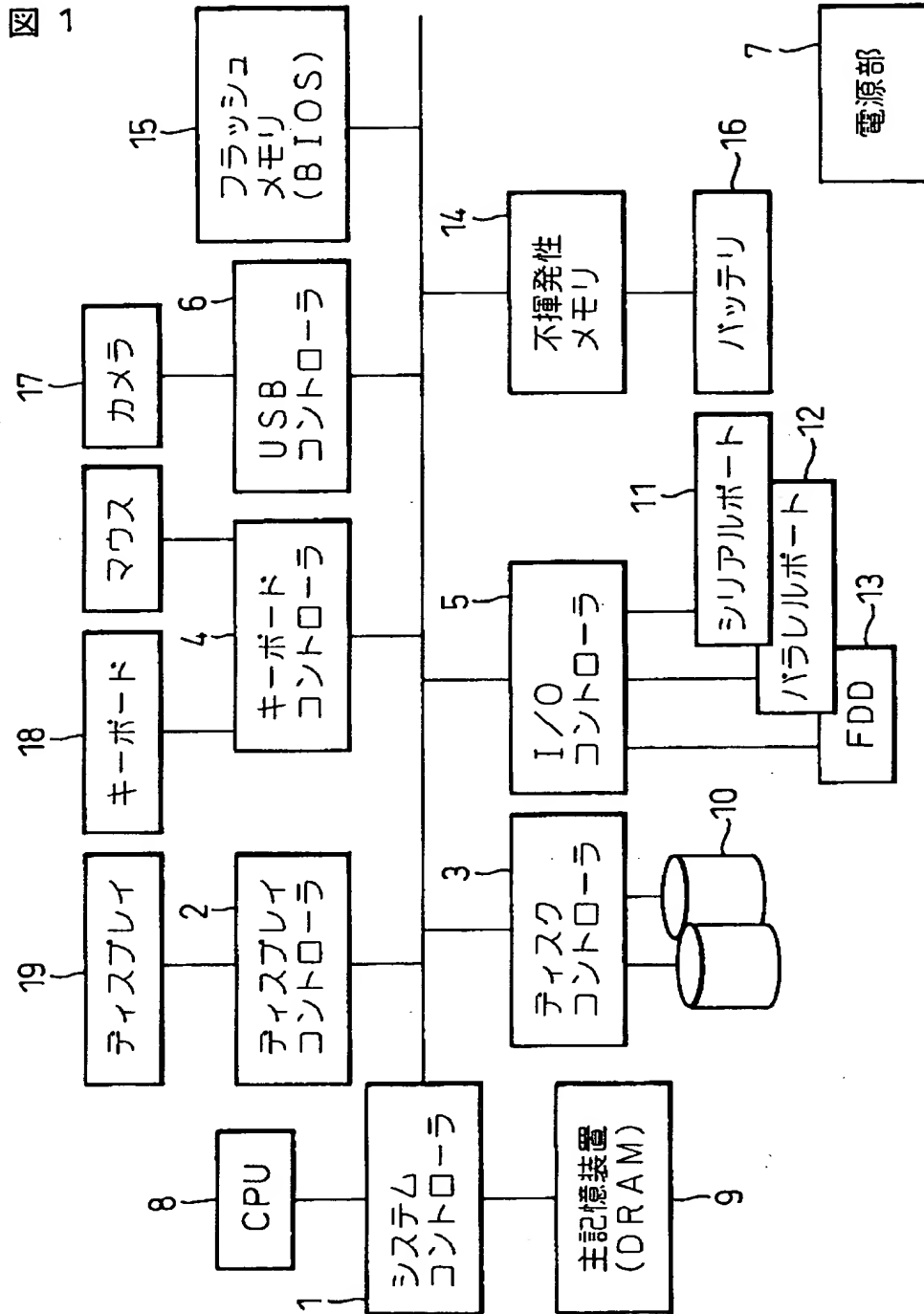
画像情報の記録処理に係る処理フロー図である。

【符号の説明】

- 1 … システムコントローラ
- 2 … ディスプレイコントローラ
- 3 … ディスクコントローラ
- 4 … キーボードコントローラ
- 5 … I / O コントローラ
- 6 … U S B コントローラ
- 7 … 電源部
- 8 … C P U
- 9 … 主記憶装置
- 1 0 … ハードディスク
- 1 1 … シリアルポート
- 1 2 … パラレルポート
- 1 3 … フロッピーディスクドライブ
- 1 4 … 不揮発メモリ
- 1 5 … フラッシュメモリ
- 1 6 … バッテリ
- 1 7 … カメラ
- 1 8 … キーボード
- 1 9 … ディスプレイ

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

図 2

| データ領域名   | 格納場所     | サイズ                                       |
|--|----------|---|
| バラメータ1 (記録のタイミング)<br>Bit 0: 電源投入時に記録<br>Bit 1: レジューム時に記録<br>Bit 2: BIOSセットアッププログラム起動時に記録<br>Bit 3: 不正バスワード入力時に記録 | CMOS RAM | 1 バイト                                     |
| バラメータ2 (フォーマット)<br>ピクセル数/色数等   | CMOS RAM | 1 バイト                                     |
| バラメータ3 (書き込み方式)<br>0: 上書き<br>1: 追記   | CMOS RAM | 1 バイト                                     |
| 画像データ管理ヘッダ<br>先頭画像データへのポインタ  | フラッシュメモリ | 4 バイト                                     |
| 画像データ<br>次の画像データへのポインタ<br>画像データを記録した時刻<br>画像データを記録したタイミグ<br>画像データのフォーマット<br>データ                                  | フラッシュメモリ | 4 バイト<br>8 バイト<br>1 バイト<br>1 バイト<br>n バイト |



【図 3】

図 3

|   |   |
|---|---|
| 機能：画像情報記録タイミングの現在の設定を返す                 |   |
| WORD (*entryPoint) (Function, Trigger); | /*For 32bit Protected Mode*/                              |
| WORD Function;                          | /*Function 0x0000*/                                       |
| BYTE *Trigger;                          |   |
| *Trigger:                               |   |
| Bit[7:4]                                | リザーブ  |
| Bit[3]                                  | 0: 不正パスワード入力時に記録しない<br>1: 不正パスワード入力時に記録する                 |
| Bit[2]                                  | 0: BIOSセットアッププログラム起動時に記録しない<br>1: BIOSセットアッププログラム起動時に記録する |
| Bit[1]                                  | 0: レジューム時に記録しない<br>1: レジューム時に記録する                         |
| Bit[0]                                  | 0: 電源投入時に記録しない<br>1: 電源投入時に記録する                           |
| 機能：画像情報記録タイミングを設定する                     |   |
| 上と同じ                                    |   |
| 機能：画像情報記録フォーマットの現在の設定を返す                |   |
| WORD (*entryPoint) (Function, Format);  | /*For 32bit Protected Mode*/                              |
| WORD Function;                          | /*Function 0x0002*/                                       |
| BYTE *Format;                           |   |
| *Format:                                |   |
| Bit[7:4]                                | ピクセル数<br>0: 320x240<br>1: 640x480<br>2: 1024x768等         |
| Bit[3:0]                                | 色数<br>0: 4bit(16)<br>1: 8bit(256)<br>2: 16bit(65536)等     |
| 機能：画像情報記録フォーマットを設定する                    |   |
| 上と同じ                                    |   |
| 機能：画像情報書き込みモードの現在の設定を返す                 |   |
| WORD (*entryPoint) (Function, Mode);    | /*For 32bit Protected Mode*/                              |
| WORD Function;                          | /*Function 0x0004*/                                       |
| BYTE *Mode;                             |   |
| *Mode:                                  |   |
| Bit[7:0]                                | 書き込みモード<br>0: 上書き<br>1: 追記等                               |
| 機能：画像情報書き込みモードを設定する                     |   |
| 上と同じ                                    |   |

【図 4】

図 4

| 画像記録           |                |
|----------------|----------------|
| 画像記録の状態：       | 有り             |
| 画像記録の表示        | 【[Enter]】      |
| 電源投入時：         | 【記録しない】        |
| レジューム時：        | 【記録しない】        |
| BIOSセットアップ起動時： | 【記録しない】        |
| バスワード入力不正時：    | 【記録する】         |
| 画像の大きさ：        | 【640x480 ピクセル】 |
| 画像の色数：         | 【 256色】        |
| 記録モード：         | 【追記】           |
| 画像記録の削除        | 【[Enter]】      |

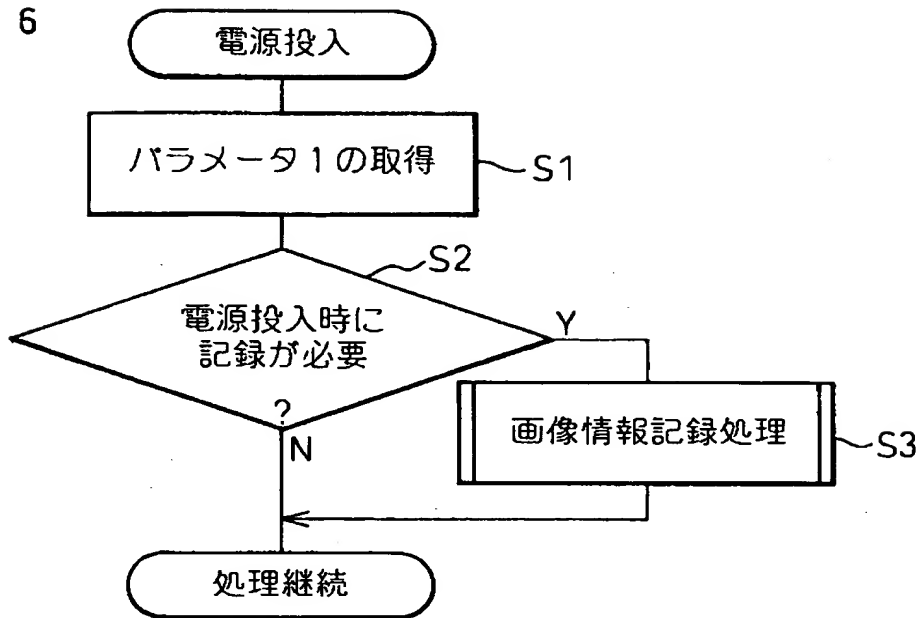
【図 5】

図 5

| 画像記録                          |
|-------------------------------|
| 2000/01/01 00:00:00 バスワード入力不正 |
| (画像データの表示)                    |
| 【前のデータを表示】 【次のデータを表示】 【戻る】    |

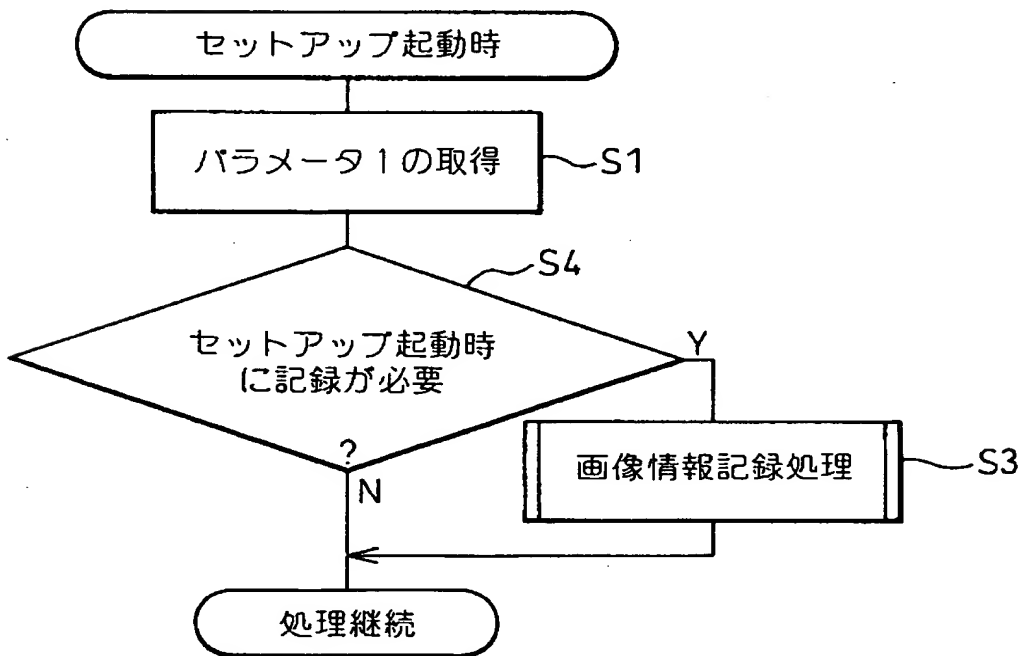
【図 6】

図 6



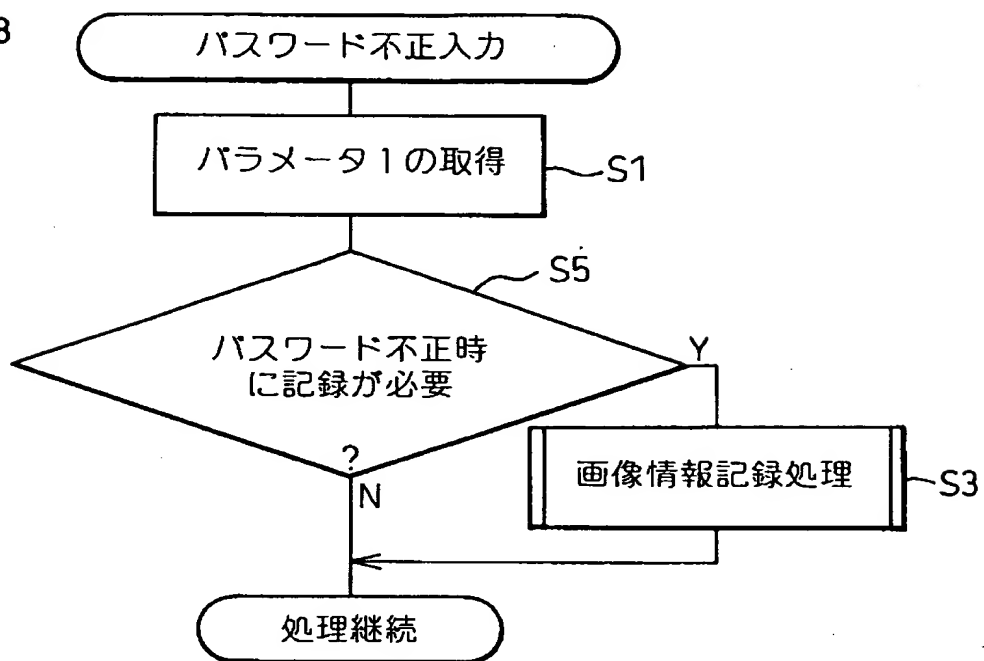
【図 7】

図 7



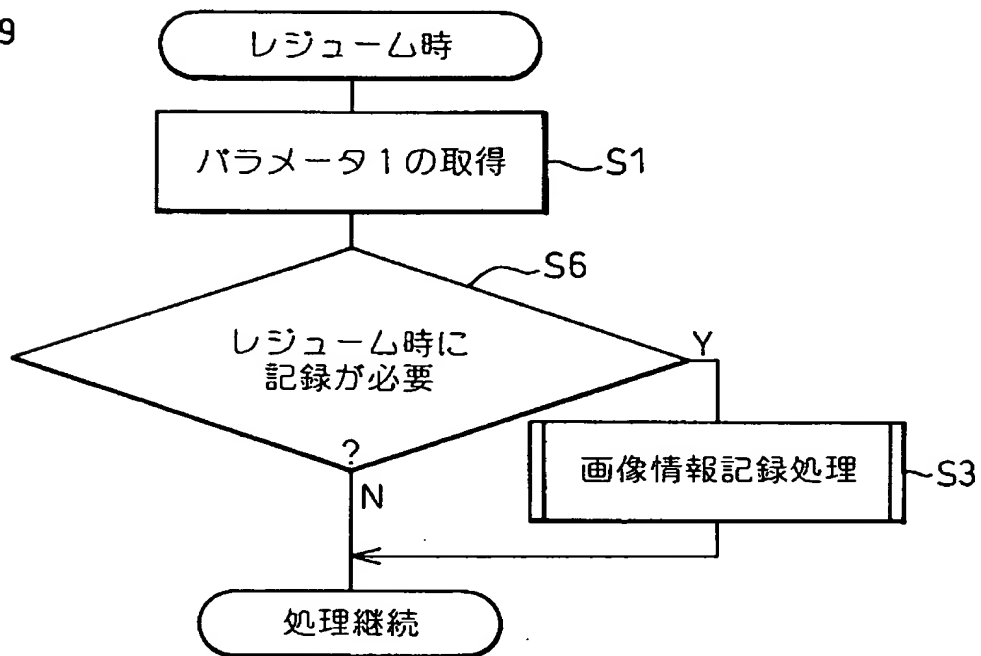
【図 8】

図 8



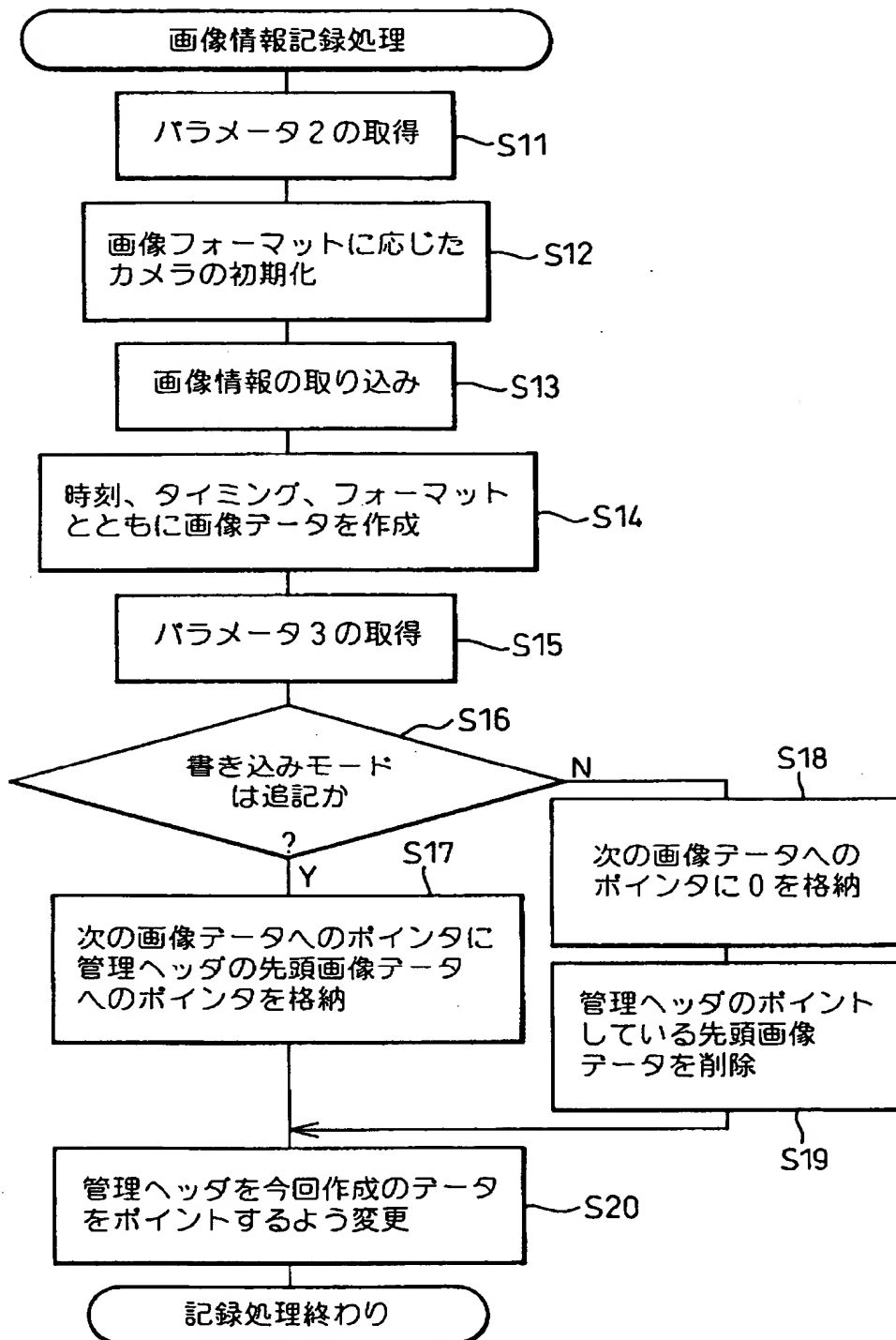
【図 9】

図 9



【図 10】

図 10



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電子装置の周辺画像情報の記録を、不正使用を判断すべきタイミングでのみ行い、装置のリソース消費を少なくし、その記録を簡単化する。

【解決手段】 電子装置において、少なくとも当該装置の不正使用に関する条件を示すパラメータを格納した第1のメモリ(14)と、前記パラメータで示される条件が成立した場合に、当該装置の使用者を撮像した撮像装置による画像情報を第2のメモリ(15)に格納する制御部とを備えた。制御部は、出力指示により前記第2のメモリに格納された画像情報の出力を制御し、BIOSセットアッププログラムで前記第1のメモリ内のパラメータの読み出し及び前記第2のメモリへの前記画像情報の記録を行うことを指示する。さらに、前記BIOSプログラムに用意されたインタフェースを介して前記装置のオペレーティングシステムプログラムで、前記第1のメモリ内のパラメータの設定・変更を指示する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社